

## はじめに

毎年、地震や台風、豪雨などにより多くの尊い人命や財産が失われる災害が発生しています。

このハザードマップでは、みなさんに自然災害に備えていただくため、予測される被害範囲と避難場所を地図上に表示しています。

自宅と地域の危険を確認して災害に備え、自分と家族、地域を守りましょう。

### 南あわじ市ハザードマップ

#### 【第1章 災害を知ろう】

南あわじ市では、洪水、土砂災害、高潮、地震、津波、ため池氾濫などの災害が想定されています。それぞれの災害でどのような被害があるかを知りましょう。

#### 【第2章 避難行動を知ろう】

難を避ける方法が色々あります。どんな避難行動があるかを知って、災害時には落ち着いた行動をとりましょう。

#### 【第3章 ハザードマップで危険を知ろう】

南あわじ市の災害想定を表示しています。

#### 【第4章 マイ避難カードを作ろう】

風水害はある程度、予想ができる災害です。あらかじめ災害時の行動を作成し、安全な避難をしましょう。



## 第1章 災害を知ろう

# 風水害(台風・集中豪雨など)

海上で発生する強風を伴った熱帯低気圧を「台風」といいます。また同じ場所で何時間も降る雨を「集中豪雨」といいます。台風や集中豪雨は様々な災害をもたらします。

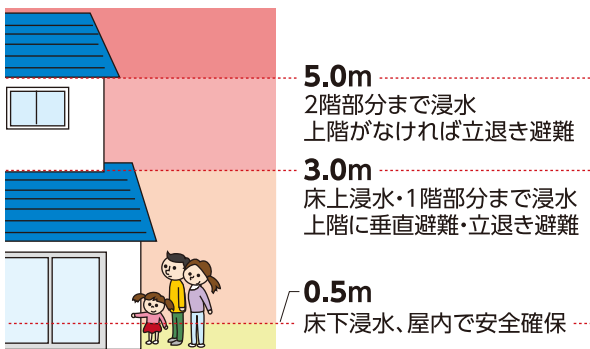
## 1 風水害の被害

### 洪水

大雨や台風などが原因で川の水があふれたり、堤防が決壊して浸水することを外水氾濫、雨水が排水できず浸水したり、排水溝から逆流したりすることを内水氾濫といいます。

過去に浸水した場所は、大雨時に再び浸水するおそれがあります。事前に確認して備えましょう。

#### 浸水想定(洪水・高潮)



#### 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時に家屋の基礎を支える地盤が流出し、家屋の流失や倒壊のおそれがある区域です。洪水時、区域内の方は、立退き避難をしましょう。

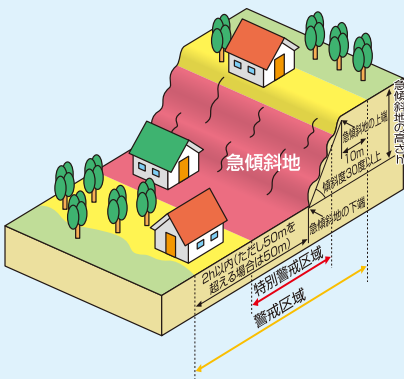


## 土砂災害

大雨や地震によって土砂災害は発生します。

- 土砂災害のおそれがある区域とその周辺は、雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」に注意し、危険な状況になる前に立退き避難をしましょう。
- 立退き避難が間に合わない時は頑丈な建物の上階などに避難し、「緊急安全確保」を行いましょう。なお、十分頑丈な建物の上階に住んでいる場合は、自宅にとどまり屋内で安全を確保することも可能です。
- 土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。前兆現象に気がついたら、周囲の人と声をかけあい、いち早く安全な場所に立退き避難をしましょう。

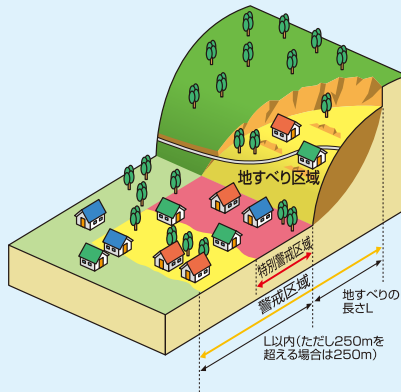
### がけ崩れ



斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる

**前兆** 小石が斜面から落下する、斜面にひび割れができる、斜面から湧水がある

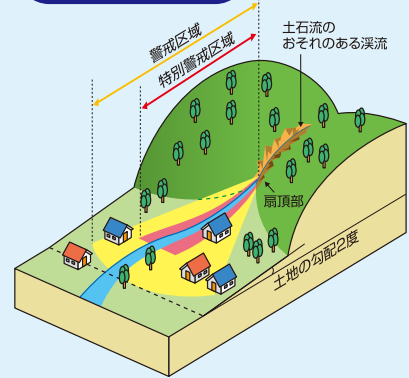
### 地すべり



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する

**前兆** 地面にひび割れや段差ができる、井戸や沢の水が濁る、地面が振動する

### 土石流



山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される

**前兆** 山鳴りがする、川が濁り流木が混ざり始める、腐った土のにおいがする

イラストの■部分が土砂災害特別警戒区域、■部分が土砂災害警戒区域です。

- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は、土砂災害警戒区域のうち、建築物が破壊され、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域です。
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)は、土砂災害の被害が生じるおそれがある区域です。

ハザードマップに記載された区域以外でも土砂災害が起こる可能性があります。注意しましょう。

## ため池氾濫

ため池氾濫は、水の流が速く歩行が困難で、木造家屋に被害が出るおそれがあります。ため池が危険な状態のときは、立退き避難を検討しましょう。

歩行可能区域	床上浸水に注意
歩行困難区域・安全避難が困難	浸水区域外への立退き避難
歩行不可能区域	又は近くの頑丈な建物の上階へ緊急安全確保

## 強風

強風時に外出すると、看板などの落下物や飛来物、倒れかけた樹木や折れた枝などに当たって大けがをする場合があります。

- 強風のときは、不要不急の外出を控えましょう。
- 高所の作業はきわめて危険なので絶対にやめましょう。

## 竜巻

竜巻は前線や台風の影響で発達した積乱雲の強い上昇気流によって発生します。気象庁から竜巻注意情報が発表された場合は注意が必要です。

- 屋内にいたら窓やカーテンを閉め、窓から離れましょう。
- 屋外にいたら頑丈な建物の物陰に入って身を小さくしましょう。



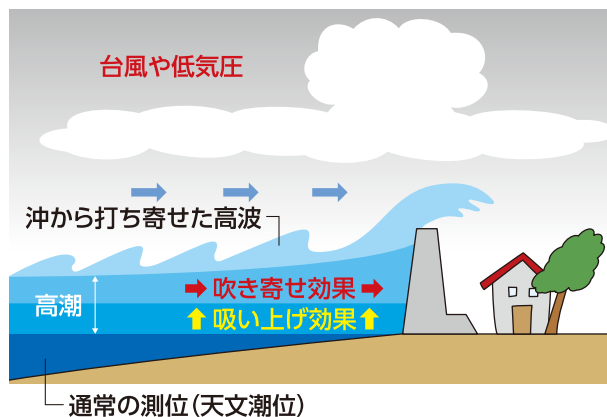
## 落雷

雷は発達した積乱雲により発生します。遠くで雷の音がしたら、すでに危険な状況です。

- 落雷の危険があるときは建物や車の中に避難しましょう。

## 高潮

高潮は台風や発達した低気圧が原因で発生します。海水が堤防を超えると一気に浸水します。台風情報や高潮警報に注意して、早めに避難しましょう。



### 高潮発生 の 3つの要因

- ① 気圧低下による海面の吸い上げ  
台風や低気圧の中心は気圧が低く、海面を吸い上げます。
- ② 強風による岸への吹き寄せ  
強い風により海水が海岸に吹き寄せられ、海面が上昇します。
- ③ 波浪による海面上昇  
大きな波が海岸に向かって押し寄せることで、沖に海水が戻れず、海面が上昇します。



## 2 大雨警報・洪水警報等に注意

気象庁では雨量に応じて、災害の恐れがあるときは、注意報や警報などを発表しています。

大雨注意報・洪水注意報	大雨によって災害が発生するおそれがあるとき
大雨警報・洪水警報	重大な災害が発生するおそれがあるとき
大雨特別警報	数十年に一度の大きな災害が発生するおそれが著しく大きいとき
記録的短時間大雨情報	数年に一度発生するような短時間の大雨を観測・解析したとき